



広報

7月号

にのみや

第386号 発行日 平成6年(1994年)7月10日

編集 二宮町広報編集委員会
発行 二宮町総務部企画室 二宮961番地 電話71-3311

二宮町民憲章

1. 郷土を愛し、自然をいかすきれいな二宮町をつくりましょう。
1. ふれあいを深め、ことばをかけあうさわやかな二宮町をつくりましょう。
1. きまりを守り、良習をはぐむ住みよい二宮町をつくりましょう。
1. 幸せを願い、健やかな、明るい二宮町をつくりましょう。
1. 教養を高め、文化のかおる豊かな二宮町をつくりましょう。



町民総ぐるみボランティア運動の一環として行われたクリーンキャンペーン

ボランティア活動を通して、素晴らしいまちづくりを…

ボランティア連絡会発足

連絡会発足の経緯

町では昨年度より、役場企画室内に「ボランティア推進室」を設けるとともに、専任の推進員を置いて、ボランティア活動をしたという町民のみなさんへの支援体制を整えてきました。

ボランティア推進室には現在まで、九団体(八百二十一人)および四十七人の個人の方が登録され活動を行っています。この中で、会員の交流や意見交換の場として、連絡会が必要であるとの意見が出され、六月十七日に町民主体の「二宮まちづくりボランティア連絡会」が発足しました。発足にあたっては、今年三月と四月に会議を開き、会の方向性や規約づくりを進め、名称についてはボランティアのみなさんのアンケート結果から決められました。

連絡会の活動内容

連絡会(会長 高見澤薫さん)は、ボランティア精神を持って地域活動、保健活動、文化活動、防災活動、緑化活動、美化活動、環境保護活動など町民としてできる各種まちづくり活動に参加し、会員相互のふれあいを深め、活動を



連絡会では活発な意見交換が

定年退職を機会に参加

会社を定年退職し何かしなければと思っていたところ、広報紙でボランティア募集の記事を目にし応募しました。活動の内容は月二回保健センターで行われている身体障害者のみなさんの会(あゆみの会)で、体操などのお手伝いをしています。車いすを降りたり、つえをはずしたりした方の体を支えて、体を動かしやすいようにしています。かなり重労働で男手が大切だなと感じています。ボランティア活動はどうしても女性の方が中心なので、もう少し男性に参加していただけたらいいのですが。今後は月二回の活動を週一・二回に増やしたいと思っています。



酒寄 朗さん(百合が丘)

ボランティア連絡会会員の方に伺いました

運動の輪を町じゅうに

子供から手が離れたのを機会に、家庭を出て社会の役に立ちたいと思い、ボランティア活動を始めました。子供やお年寄りのお世話をしたり、美化運動に参加したりするなど、私にできることならジャンルを問わず活動していきたいと考えています。ボランティアの輪が町中に広がっていけば、素晴らしいまちができると思います。私も、少しでもボランティアの輪が広がるようにと、最近お友だちを二人、この会にお誘いしました。町の、ボランティア活動についてもっとPRしていただき、この運動がさらに活性化することを望んでいます。



小松 香さん(富士見が丘)

町民総ぐるみボランティア運動への参加を

主な掲載記事

- 2面…温水プールの利用状況・白ギス投釣大会結果
- 3面…結婚50・60年目の方は申し出を・町立保育園で緊急一時保育・徳富蘇峰記念館
- 4面…水の事故を防ぐために・花火による火災やケガを防ぐ・地域情報
- 5面…にのみやの地名発刊・食べ歩きマップを発行

オープンより三か月、毎月増える入場者数

利用者に好評温水プール

年間を通してスポーツに親しめる「生涯スポーツ」の拠点として、あるいは「人と人がふれあえるコミュニケーションの場」として、二宮町民温水プールは県下の他町村に先駆け、今年三月にオープンしました。オープン以来、この施設の利用状況はとも良好で、町の内外から連日多くの人が訪れ、好評を得ています。多い日には七百人を超す入場者でにぎわうこの施設の、利用状況や事業内容などについて、今回ご紹介いたします。

きれいな施設で感じがいい

温水プールの利用状況

本格的にオープンした四月一日からの入場者数は一万九千二百八十八人(六月十九日現在)にのぼり、一日平均では二百九十三人の方がこの施設を利用したことになります。

一日当たりの利用者数は月を追うごとに増えており、四月には一日平均二百二十三人だったものが、五月には三百三十五人に、さらに六月には三百四十五人へと順調に推移しています。

利用者の内訳と特徴

利用者の内訳をみると、小学校四年生から中学生までの小人が三千四百五十七人(全体の十八・二%)、高校生以上の大人が一万一千九百二十五人(全体の六十二・七%)、小学校三年生以下の無料入場者が二千五百七十五人(全体の十三・五%)となっています。また、トレーニングマシンを備えた多目的ルーム利用者は千七十一人(全体の五・六%)で、温水プールの入場者のうち十八人に一人が利用している計算になります。

利用者の居住地別内訳

町内	小田原市	秦野市	大磯町	中井町	その他
55%	12.3%	9.8%	9.7%	7.2%	6.0%

←平塚市 1.5% 横浜市 0.8% 藤沢市0.7%等
(1,577名に対するアンケート調査より)

アンケートの結果より

温水プールでは、来場者に対してアンケート調査を実施しました。住所や利用したときの感想を内容としたもので、千五百七十七名の方に答えていただきました。

「貴方は、どちらからこられましたか?」との問いには、四十五%の人が町外と答え、半分近くは二宮町以外の市町から来ていることが分りました。町外

で一番多かったのは小田原市で全体の十二・三%を占め、以下秦野市(九・八%)、大磯町(九・七%)、中井町(七・二%)と続きます。

温水プールに対する感想については、「施設もきれいで、係の方もとても感じがよい」「シャワー室が個室で、よいいな神経を使わなくてすむ」「夜九時まで開いており会社帰りに利用できてよい」など、好意的なものが多くなっています。とくに「体調が非常によくなった」「温水プールは暖かくて腰にとてもよい」「運動不足解消によい」といった健康面でのメリットを記入した方が多かったのも、特徴としてあげられます。

温水プールで健康づくりを

健康づくりのお手伝い

温水プールでは「健康づくり」を、大きなテーマとして取りあげ、事業を展開しています。例えば、二十五坪の公認プールにはウォーキングコースと長く泳ぎたい人用のコースを常設しているのもそのためです。

ウォーキングコースはその名の通り、プールの中を泳ぐのではなく、歩く人のために設けたコースです。温かいプールの中を、浮力の助けを借りながら適度に、水の抵抗を受けて歩けるので、お年寄りの方にも無理なく体力づくりができます。

また、長く泳ぎたい方のために、二コースを確保しています。二コースはそれぞれ反対の方向に一方通行となっているので、正面衝突の心配もなく安心して泳ぐことができます。さらに、残りの三コースは自由に泳ぎた

こんにちは指導員の武井です



水泳教室より

今年四月から温水プールで水泳の指導をしている武井幹雄です。ここに来る前は、民間のスイミングスクールで二年半、インストラクター(指導員)をしていました。

上手に泳げるようになりたい人に、まずお願いしたいのは「私も泳げるんだ」という信念を持つことです。水泳教室に来ている人の中には、内容が少し難しくなると来なくなってしまう人がいます。

最後に女性の方にお願いがあります。それは、プールに入る前には、必ずお化粧を落として欲しいということです。きれいな水で、みんなが気持ちよく泳げるよう、ご協力ください。

歩き専用のコースを常設



歩き専用のコースを常設

い方や、水泳教室用にあてられていると、それぞれのレベルにあわせて体力づくり、健康づくりができるよう配慮しています。

この他、泡の出るジャグジープールで心身ともにリフレッシュ、多目的ルームで機械によるトレーニングなど、町民温水プールはみなさんの健康づくりをサポート(各種事業や管理運営、ハード面(施設)の両方から応援します。

水泳教室で楽しむ

温水プールでは初心者の方にも、水泳を楽しんでもらえるように「水泳教室」を開催しています。毎週火曜日・土曜日まで行われているので、とても参加しやすくなっています。

参加者の中からは「インストラクターの方がやさしく教えてくださるので、とても楽しい。二十五泳げるようになるまで

がいますが、それでは上達しません。指導内容を忠実に守れば、必ず上手に泳げるようになりますから、途中で諦めないでください。それから、あまり細かいところを気にせず、できるだけ回数を多く泳ぐことも大切です。ゆくゆくは、水泳教室のみならず水泳大会が開ければ、と夢をふくらませています。

水泳教室の内容
開催日 毎週火曜日・土曜日
区分および時間帯
○婦人・高齢者の部：一組
(午前十一時～十一時五十分)

町長の主な動き (6月)

- 1日(3日)：町政事務連絡委員会 外視察研修(宮城県)
- 4日：身体障害者福祉協議会総会(社会福祉センター)・消防団員報償支給(役場)
- 5日：白ギス投釣大会(袖が浦海岸)・健康マラソン大会(二宮小学校校庭)
- 6日(13日)：平成六年第二回定例町議会(役場)
- 9日：二宮工業団地協同組合総会(工業団地協同組合会議室)

白ギス投釣大会結果

- 初夏の日差しがまぶしい六月五日(日)に第二十九回白ギス投釣大会が行われ、昨年の重量は、昨年に比べ百ギス近く多く、また他の入賞者の重量も軒並み昨年を上回るなど、ますますの成果でした。
- 上位入賞者(敬称略)
- グランドチャンピオン
野谷 忠(山西)：三三四ギス
- 一般の部
第一位 野谷 忠(山西)：三三四ギス
第二位 中島邦信(山西)：二八六ギス
第三位 谷淵正幸(中里)：二〇五ギス
- 婦人・子供の部
第一位 足助 悦(二宮)：三三八ギス
第二位 林 三夫(二宮)：一五六ギス
第三位 平田知雄(百合)：一三七ギス
- 外道の部
第一位 神保 智(二宮)
- メゴチ：八一ギス
シタレメ：七五ギス
野田康雄(百合)：五八ギス
フク：五八ギス
- ※白ギスは尾以内の総重量で順位を決定。外道の部は白ギス以外の魚一匹の重量により順位を決定。



成果もますます

社会を明るくする運動 (7月1日～31日)

ふれあいと対話が築く明るい社会――社会を明るくする運動は、皆さんの参加を得ながら、法務省が主催し、すべての国民がそれぞれの立場で力をあわせ、犯罪や非行のない明るい社会を築くための運動です。更生保護の立場から行う犯罪・非行予防活動が大きな柱となっています。

保護司や更生保護婦人会などが中心となり、街頭広報活動・映画会・ミニ集会などを実施し、地域のみ



ふれあいを大切に



天気はいいし...

だ。血をかくとまで下げて循環させたらよくなる」というような意味の掛け軸が当記念館に展示してあります。

徳川家康以来三百年間、日本の政治の中心であった江戸城を、西郷隆盛と会見し平和の無血のうちに明け渡す大業を終え、いわば明治という舞台を作り上げたのは、海舟あつてのことでした。

後に福沢諭吉は戦わないで江戸城を明け渡した海舟を、武士の風上にもおけないと非難しますが、海舟は、貴方がどう思おうともそれは自由である。私は、私の責任でよいと思つたことを行つたまでである」といいます。人の批判を気にせず、自分の信じることを行つた海舟は大きな人物だと思ひます。

海舟は強がりという人は大嫌ひであつたといひます。蘇峰一家は七年間、海舟の邸内の借家に住んでいました。海舟は「詩経」を解釈しながら蘇峰と読んでいます。「人間は、東西古今、同じことを繰り返して」生きている。「自分の意見を人に押し付けるのは

王者の道ではない。反対者は反対させ、異論者には異論させよ、我的為す所是であれらん」。このようなく人間学が、蘇峰の生き方いかに幅を占めたか計りしれません。

明治二十九年蘇峰が外遊する時、海舟はチップ用の小銭を皮袋に入れてせん別にしました。海舟は貧しい書生時代、神田の書店で立ち読みをしていたところ、北海道の商人洪田氏と出会い、洪田氏は本屋に蘭書購入の金を置いていき、海舟が読んだ後、その本を送るよう申し込んだといひます。人の情けを受けた海舟は人の苦労が分かり、思ひやりが深かつたといひます。また、「人は決して捨つ可きものにあらず、いかに役に立たぬ者でも、何か一得あり、一長あり」といつています。

今日の社会にあつて、老人問題、生涯教育などが問題になつていますが、海舟の生き方はその答えを持っているように思ひます。

文学委員 高野静子さん

第 4 回

恩師 勝海舟

蘇峰堂の入り口に、二本
イチヨウの樹が枝を広げて
ます。蘇峰は海舟のことを
生は森にあらずして、一株
大樹なり。その陰に憩うも
幾百千人を知らず」と言っ
ています。

だ。血をかかとまで下けて循環させたらよくなる」というような意味の掛け軸が当記念館に展示してあります。

徳川家康以来三百年間、日本の政治の中心であった江戸城を、西郷隆盛と会見し平和的無血のうちに明け渡す大業を終え、いわば明治という舞台を作り上げたのは、海舟あつてのことでした。

後に福沢諭吉は戦わないうで江戸城を明け渡した海舟を、武士の風上にもおけないと非難しますが、海舟は「貴方がどう思おつともそれは自由である。私は、私の責任でよい」と思つたことを行ったまでであるといひます。人の批判を

王者の道ではない。反対者に
は反対させ、異論者には異論
させよ、我の爲す所是であら
ば、彼等がなす所悟る時あら
ん」。このよつな人間學が蘇
峰の生き方にいかん幅を与
えたか計りしれませぬ。

明治二十九年蘇峰が外遊す
るとき、海母はチップ用の小
銭を皮袋に入れてせん別にし
ました。海母は貧しい書生時
代、神田の書店で立ち読みを
していたところ、北海道の窮
人渡田氏と出会い、渡田氏は
本屋に蘭書購入の金を置いて
いき、海母が読んだ後、その
本を送るよう申し込んだとい
います。人の情けを受けた海
母は人の苦勞が分かり、思ひ

夏本番、水遊びの季節を控え 水の事故を防ぐ

水難事故を防ぐ注意点

夏になると水の事故が増えます。水の事故では、ちょっとした不注意が命とりになりかねません。次に掲げた事柄に充分注意を払い、事故のない楽しい夏をお過ごしください。

海水浴を楽しむみなさんへ

○高波の中での遊泳は絶対にやめましょう。遊泳注意が出ているときは、監視員の指示に従いましょう。



暑い夏には冷たい水が恋しくなりますけれど、充分注意しないと大変なことになるかねません。

○飲酒後の遊泳や睡眠不足時等の遊泳はやめましょう。
○遊泳区域外での遊泳はやめましょう。
○水上オートバイを楽しむみなさんへ

○必ずライフジャケット（法定備品）を着用しましょう。
○無免許航行はやめましょう。また、無免許の人には、絶対に貸さないでください。

○遊泳者の近くでの航行は、条例で禁止されています。
○初心者の方は、講習を受けてから航行してください。
○ウィンドサーフィンを

楽しむみなさんへ
○必ずウェットスーツを着用しましょう。

○初心者の方は、必ずグループで練習しましょう。
○潮の流れや風向きに注意しましょう。

○遊泳者の近くでウィンドサーフィンをすることは、条例で禁止されています。

ライフセーバーによる救助活動の実演

みなさんは、ライフセーバーという言葉をご存知でしょうか。

住民結核健康診断

「結核はすでに過去の病気」と思っている方が多いのではないのでしょうか。確かに結核で亡くなる方は、以前に比べてかなり減っています。けれども、いまでも毎年新しい結核患者が多く発見されているのも事実です。

町では結核の早期発見と予防のために、結核健康診断（レントゲン間接撮影）を毎年実施しています。該当する方は近くの会場にて必ず受けてください。

対象者：十六歳以上の住民（ただし、学校・勤務先・医療機関等で検診を受けている方、妊娠中の方、結核を患っている方を除く）
料金：無料（町負担）
注意①：次のような服装は避

住民結核健康診断日程表

月日	曜	時 間	会 場
7月25日	月	9:45~11:30	神奈中ストア二宮店駐車場
		13:00~15:00	百合が丘老人憩の家
26日	火	9:45~11:30	中南信用金庫二宮支店駐車場
		13:00~15:00	中里児童館
27日	水	9:45~11:30	海の星幼稚園園庭
		13:00~15:00	下町老人憩の家
28日	木	9:45~11:30	釜野（小沢米店前）
		13:00~15:00	富士見が丘児童館
29日	金	9:45~11:30	吾妻神社入口
		13:00~15:00	茶屋老人憩の家

けてください。
○ボタンやホック（プラスチック等）のついた下着。
○毛糸製の下着やセーターおよび和服。
○ブラジャーおよびネックレス等ははさず。
（ただし、Tシャツのよう

な薄い下着一枚なら可）
注意②：すでにお配りした「受診票」に必要事項を記載して、必ずお持ちください。

結果：写真の不鮮明な方、異状のあった方には（二か月後）別途通知します。（異状のない方には通知しません）
問合せ：健康課保健予防係（☎七二一〇〇）まで

花火による火災やケガを防ごう

花火は夏の風物詩のひとつですが、家庭で気軽に楽しめる「おもちゃ花火」といっても、正しく取り扱わないと火災になったり、やけどをしたりするなどの事故になりかねません。

たかが花火と思いがちですが、花火をする前には必ず次のことに注意しましょう。

安全な場所を選ぶ

花火をするときは、次のような場所を選びましょう。

○紙くず、枯れ草、廃材など燃えやすい物が周囲にないこと。

○灯油などの危険物が周囲にな

いこと。
○建物から離れていること。

気象条件を考える
強風注意報や乾燥注意報が出ているときや、風が強いときは、花火をしないように。

注意書を必ず読む
最近では、いろいろな種類が増えて点火方法も様々ですので注意書きを必ず読みましょう。

花火をほぐしたり
まとめて点火しない



正しく取り扱えば安全な花火でも、火薬を集めたり数本まとめて点火したりすると、火薬が一度に燃えて大変危険です。
必ず水の入ったバケツを用意する
点火に使ったマッチの燃えかすや、花火の燃えがらは必ず水の入ったバケツに入れて、確実に消火しましょう。水につけて捨てるのは大変危険です。

が、一般には水辺の事故防止のための、実践活動のことをこう呼んでいます。
今回、このライフセーバーによるデモンストレーション（公演）を行います。
とき：七月二十三日（土）午後六時十五分～六時四十五分
ところ：袖が浦海岸（バンガロー下）

葛川の上流の自然

二宮町を北から南へと大きく二つに分割するかのよう流れに流れている葛川。その源は中井町井ノ口の宮付近で、そこからいろいろな小川を集めて二宮へ流れ込んでいる。昭和三十年代くらいまでは、上流の方では川で泳いだり、洗たくしたりしていたようです。そのくらい水がきれいだったよう



鴨も遊ぶ葛川の上流の自然

しかし、そんな川も一度大雨になり怒り出すと、民家をも脅かす存在になります。現在、上流（二色方面）では昔の川の倍以上の幅に改修され、以前のような氾濫（はんらん）はなくなった。その反面、清流は昔のような訳にはいかない。それでも年間を通して白サギが舞い、ドジョウなどを追いつけるのは、葛川の清流が川で遊ぶ光景も見られ、六月ごろにはハヤの群れが川の流に逆らうように泳ぐ姿がしばしば見られる。八月ごろには、立派なハサミを持った真赤なアメリカザリガニが川の浅瀬をはいはいする姿が多く見られ、ホタル

もわすかであるが見られるときがある。そんな色々な光景を見るたびに、心がなごむ思いがする。下流に比べ、まだ少しは昔の面影を残しているような気がする。以前、川の草が生い茂るので草を刈り、ブルドーザーで河川敷を平らにしたことがありましたが、かえって「コ」が一面に散らかり、魚は浅すぎて棲めなくなり、カメは重機に踏まれて死んでいったこともあった。あまり人が手を加えるのも問題があるのかな。人間の生活と自然は共存し難いのかも知れないが、うまく共存する知恵は人にあるはずだ。いま、葛川が二番待ち望んでいるのは、自然を愛する人の心と公共下水道かもしれない。



体操で、元気ハツラツ

百合が丘老人憩の家から「一、二、三、四、五、六」と大きな声が聞こえてきた。自きょう術という耳慣れない体操だ。この、快く取材に応じていただいた、指導をしている赤羽さんに聞いてみた。

「この体操は、大正時代にはやり、体の指圧、もみ方をひとりでできるように組み込んであって、ラジオ体操の普及と共にたれていったそうす。背骨を真直ぐ保つため内臓を丈夫にし、体もとても柔らかく

なります。」とのこと。
前半座って、後半は立つて、常に大きな声を出し「一、二、三、四」とやる。動作もあまり激しいものではないので、お年寄りの体操に向いている。赤羽さんは現在七十歳、ご自分のきょうり腰を直そうと始めたものが、民生委員をしているときにお年寄りから教える機会とあって、その後口コミで三十五人程も集まって毎週みんなでやっているそうす。

中には、九十歳になる方もやっていると。私も体験させていただきましたが、きびきびした大きな掛け声と動作に圧倒されそうでした。体操が一セット終わるころにはもう汗びっしょりです。そして、この後仲間間でワイワイやる指圧とか、親交がこの上ない楽しさとか。みなさんの顔がイキイキ晴々とかやいていました。

健康維持のためには、やはり体を動かすといことも重要な要素です。自分にあった体操など見つけて続けたいと思いましたが、情報をおよび写真の提供：片岡孝子さん（百合が丘在住）

掛け声と動作が圧巻

カメラ レポート



鮮やかに初夏の装い(園芸試験場前交差点の花だん)



救助技術指導会に向け特訓中の消防署員



初夏の日差しを浴びて元気にスタート(健康マラソン大会より)

みんなの 広場

わが家のゴミ対策

私の家では、台所に大きな封筒をガムテープで張り付けています。空き箱や紙など、ついポイと捨ててしまいがちな物を、たんでこの中に入れるためです。

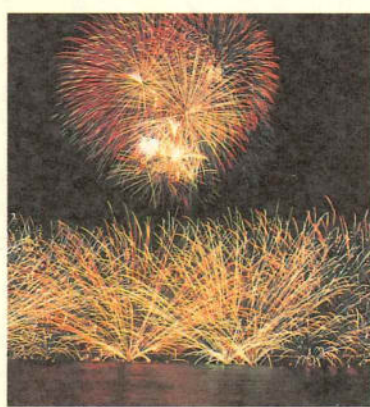
また、お年寄り用の紙おむつ



昭和四十七年頃の二宮駅
脇文夫さん(中里)撮影

第21回二宮納涼花火大会

ところ 袖が浦海岸(パンガロー下)の沖合三百メートルの海上で打ち上げます。
花火の種類 打ち上げ花火、水中投げ込み花火、水中クジャク、スターマインなど
主催 二宮町観光協会
主 管 第21回二宮納涼花火大会実行委員会
後 援 二宮町、二宮町商工



7月23日(土)

午後7時30分～8時45分

雨天高波の場合7月24日、25日、26日に順延

を町から頂き、便利に使っていますが、使用後のゴミの量を何とか減らせたいものかと考えていました。そこで思い付いたのが、濡れていない部分をハサミで切って、もう一度使うという方法です。他によい方法があれば、お知らせください。

木下さん(百合が丘)

三十数年ぶりで
リュウゼツランに花が



西山良三さん(山西)
のリュウゼツラン

昨年九月ごろ、以来くぐんぐん茎が伸び、ついに二階の屋根を越してしまっただけです。三十数年前にも同じような花が咲き枯れてしまった後に育った子株が、今回また花を咲かせたそうです。最初の株は、だれがいつ植えたのか西山さんにも分からないとのこと。珍しいので写真に記録を残しているというのでした。



ペンネーム 飛鳥涼子さん
(山西)の作品

わたしの花自慢



池田玉枝さん(二宮)

わが家では、主人、息子そして私と家族全員でそれぞれ花を育てています。主人はランが好きで、色々な種類のランを植えて楽しんでいますが、息子は小さい頃から山歩きをさせて植物に親しませたいか、山野草が好きでユキワリソウやイワタバコ、イワザクラなどを丹精込めて育てています。私はテッセンなどの花が好きですね。以前、このコーナーで紹介された加藤さんに、ジキタリスを分けてもらい、いまでは美しい花を咲かせています。近頃では、畑でも花を作って四季の彩りを楽しんでいます。

町内かわら版 ちやうなひかわらばん 町内かわら版



熱海より直送、とても
ホットなプレゼント

六月四日に行われた「身体障害者慰安激励大会」に、東京電力平塚営業所より「温泉」がプレゼントされました。お湯は温泉の本場熱海の源泉から汲んだもので、トラックのタンクに入られて運ばれ、社会福祉センターのお風呂に注がれました。湯温は約七十度と、とても熱く塩分の濃いお湯でした。入った人は一様に「温泉場に行ってお湯につかっているようで、とても気持ちがいい」と笑顔で話してくれました。



5名が一丸となって
ゴールを目指す

「一番、第一ゲート通過！」好天に恵まれた町民運動場に、大きな声が響きます。今年で十六回目を迎えた「老人ゲートボール大会」は、六月十六日に各地区から二十三チームが参加して、にぎやかに行われました。午前中はハプロックに分かれてリーグ戦による予選が、午後からは八チームによる決勝トーナメントが行われ、各チームとも日頃の練習の成果を競いました。なお優勝は金野、準優勝は北新道東でした。



かしこい選択で、豊かな生活(消防生活展より)



いざというときに備えて(応急救護所訓練・飛田医院)



ワ、ホテルだ初めて見だよ(自然観察教室より)



ヨットが難破? いえいえこれはすべり台(みどりが丘中央公園)